2025年度　スローガン

| 公益社団法人日本青年会議所<br>スローガン | 公益社団法人日本青年会議所<br>中国地区協議会　スローガン |
|---|---|
| 希望あふれる理想を描き変<br>えたのだと誇れる未来へ | 地域の理想の未来を描き<br>変えたのだと誇れる中国の未来へ |
| 公益社団法人日本青年会議所中国地区<br>岡山ブロック協議会　スローガン | 公益社団法人岡山青年会議所<br>スローガン |
| 情熱から生まれる行動力で、<br>希望あふれる岡山の未来の創造 | VISION |

〔目次〕


[1]　公益社団法人岡山青年会議所　2025年度　基本理念　基本方針
[2]　公益社団法人岡山青年会議所　2025年度　理事長所信
[3]　副理事長方針
[4]　専務理事・常任理事方針
[5]　委員長事業計画
[6]　監事抱負
[7]　公益社団法人岡山青年会議所　2025年度　委員会職務分掌
[8]　公益社団法人岡山青年会議所　2025年度　年間公式スケジュール表
[9]　公益社団法人岡山青年会議所　2025年度　組織図
[10]　公益社団法人日本青年会議所　2025年度　出向者
[11]　公益社団法人日本青年会議所　中国地区協議会　2025年度　出向者
[12]　公益社団法人日本青年会議所　中国地区岡山ブロック協議会　2025年度　出向者
[13]　公益社団法人岡山青年会議所　2025年度　理事長セクレタリー
[14]　公益社団法人岡山青年会議所　2025年度　直前理事長セクレタリー
[15]　公益社団法人岡山青年会議所　2025年度　役員選挙管理委員会　委嘱メンバー
[16]　公益社団法人岡山青年会議所　2025年度　収支予算書
(付)　公益社団法人岡山青年会議所　2025年度　理事長公職委嘱表
公益社団法人日本青年会議所　2025年度　組織図
公益社団法人日本青年会議所　中国地区協議会　2025年度　組織図
公益社団法人日本青年会議所　中国地区岡山ブロック協議会　2025年度　組織図
公益社団法人岡山青年会議所　歴代理事長

公益社団法人岡山青年会議所 2025 年度

## 基本理念(案)

誰もが夢描き、夢を語れる、我々が住み暮らす郷土おかやまの希望であり続けるよう、常に自分自身に厳しくあり、勇猛果敢にそして計画的に行動していこう。地域社会への愛が浸透し、まちにとってなくてはならない組織へ、一人ひとりが仲間と共に成長できる活動を進めていこう。

## 基本方針(案)

明確なビジョンを掲げ自ら率先垂範となりリーダーシップを発揮し、何事も成長の機会と捉え情熱と誇りをもって行動しよう。愛溢れる郷土おかやまを創出するため、互いに切磋琢磨し仲間を尊重できる人材へ成長しよう。

若者ならではの発想力と行動力で郷土おかやまの魅力を最大限に引き出し、市民に気づきや希望を与えよう。多種多様な経験を通じてまちの未来である青少年の視野と考え方を広げ、人生観に新たな可能性を芽吹かせよう。

地域に存在するさまざまな組織と手を取り合う可能性を見出し、岡山のこれからのためにともに歩みを進めよう。地域、市民の先頭に立ち情熱をもって行動することで、誰もがこの郷土を好きになる機会を創出し続けよう。

青年会議所活動の意味と意義を今一度考え、メンバーと活動で得た「対価」を、地域や仕事、家庭に還元しよう。他 LOM や先輩との交流の機会を最大限に活かし、メンバー自ら行動を起こすことで、自分自身を磨き上げよう。

誰もが夢をもち語ることのできる組織運営を行い、公益団体として高い透明性を確保した活動、運動を展開していこう。対内外へ戦略的な広報活動を行うことで岡山青年会議所と所属するメンバーの魅力をさらに高めよう。

はじめに

岡山青年会議所は、日本の青年会議所の中でも歴史が古く、全国で 9 番目に設立されました。その長い歴史の根幹にあるものとは、一体何なのでしょうか。岡山青年会議所設立趣意書によりますと「青年は人類社会発展の原動力」そして「郷土の産業経済的発展」「日本経済の再建に携わる」と記されています。この創始の精神は、我々が大切にしている「ひとづくり」の真髄と「まちづくり」への希望に密接に関わっている重要な行動指針であります。

現在の岡山青年会議所は、先輩方のご尽力とメンバーの拡大活動への熱意で、仲間は着実に増えていると言えます。また会員数の増加に伴い、大規模な事業を展開できる組織に発展をしてきました。そして、多くの市民にも積極的な参加をいただいており、次の事業を心待ちにしてくださる方々も増えました。さらに、参加者の中には事業を通じて新たな可能性を見出せた、という声も聞かれるぐらいです。多くのメンバーに恵まれたからこそ、これからますます、地域に求められる組織に進化をしていく時です。

そのためには、まず我々が岡山青年会議所を通して、青年らしくより大きな夢を描かなければなりません。活動として無難な方法を模索するのではなく、若者らしい大胆な手法を用い、かつての先輩諸氏が多くの挑戦をされてきたように。究極の人生の学び舎、岡山青年会議所のメンバーなら、大志を抱き、勇猛果敢に運動を起こすことができると確信しています。我々は先人の方々が大切にしてきた誇りと伝統を重んじ、何事にも出席ではなく参加にこだわる組織であり続けるべきです。なぜなら、その中に様々な気付きと新たな学び、結果的に大きな夢へとつながるヒントに気付くことができるからです。

そして、岡山青年会議所創立 75 周年の節目の今、私にはより一層大きな夢が 2 つあります。

1 つ目は、我々が暮らす「おかやま」の地で後世に引き継ぎ続けられる事業を展開し、青少年の人生観に新たな可能性という芽を芽吹かせることです。いつか未来の若者たちに「あの事業を始めたのは我々だ」と胸を張って言うことができる「まちづくり」を、全身全霊をかけて取り組みましょう。

2 つ目は、多くの仲間と厳しさの中にも、愛情のある本当の意味での一枚岩の組織をつくることです。活動の中で、メンバーの一人ひとりに焦点を当て、そのひとの人柄から仕事、家族のことまでわかり合ったうえで、共に青年としてのあるべき姿を追い求め、礼儀礼節を重んじ、誰よりも利他の精神をもち続けられる、厳しくも温かい岡山青年会議所を一丸となってつくりあげていきましょう。

ひとづくり室（夢を描くための基礎づくり）

2025 年度のひとづくり室のテーマは「膝と膝を突き合わせられる関係性の強化」です。

岡山青年会議所の「ひとづくり」は長きにわたり連綿と受け継がれ、守り続けてきた類いなき至宝です。いかなる時代やいかなる状況下でも、メンバー同士の切磋琢磨によって「おかやま」の地域の発展に貢献してきました。

多様な環境、違う価値観をもった新会員と受入れスタッフが、同じ目標に向かって濃密な時間を過ごすことで、かけがえのない友情と絆を育みながら、自ら考え行動し、志をもって希望に向

かって挑戦をすることができる環境ときっかけを提供し、その上で他を愛する気持ちと次世代を担うリーダーシップを育むことができる、一人ひとりに成長しなければなりません。

昨今の不安定な社会情勢、厳しい時代だからこそ、我々の原点である三信条を突き詰め「修練」を重ねることを第一とし、強くそしてしなやかなリーダーへ、大きく進歩するべきです。将来の岡山青年会議所を牽引できるメンバーが育てば、各々が活動の中で大志を抱き、その大志を叶えようと行動する力が、今度は組織を成長させていく好循環になるはずです。「ひとづくり」の本質を心に刻み、誰もが夢描き、夢を語り合う、最高の組織の基礎をつくりあげていきましょう。

まちづくり室（まちと市民に夢与えられる存在へ）

2025 年度のまちづくり室のテーマは「市民に必要とされる仕組みづくり」です。

我々の暮らす岡山市は多くの魅力があるまちです。交通の利便性、恵まれた気候は勿論のこと、歴史と文化、昨今ではアートのまちとしても認知度を上げています。これらの魅力ある岡山市を、若者ならではの発想力と行動力を用いて、今あるまちの資源のさらなる可能性への気付きを与えられる事業を目指して「まちづくり」に取り組む必要があります。我々岡山青年会議所は「まちづくり」を行うことのできる団体です。イベントやまちおこしではなく「まちづくり」という言葉の意味を深く考えてみてください。親会のない自立した組織だからこそ、より自由な発想で、一人ひとりの人材の力を存分に発揮し、我々ならではの「まちづくり」を、今の「おかやま」には何が必要か、岡山青年会議所がやるべき事業かにこだわり、市民に気付きや希望を与えられる事業を展開していきましょう。

また、まちの未来のために、青少年の育成は必要不可欠です。様々な生活環境の変化、価値観の多様化する昨今、体験、経験の格差は、段違いに広がりをみせています。百聞は一見にしかずという言葉があります。我々が様々な事業を通じて子供や若者が「まずやってみる」ことができる場をつくり、その経験から得られる知識の向上は「おかやま」に住む青少年の視野と考え方を広げる可能性をもつのではないでしょうか。青少年の可能性の広がりは即ち、夢の広がりに直結しています。青少年の夢が広がれば、ひいては我々の暮らすまち「おかやま」もますます活気づいていくでしょう。

連携室（地域との夢の架け橋）

2025 年度の連携室のテーマは「他団体との連携向上」です。

岡山青年会議所の強みは多くの他団体と出会い、共に協力体制を敷くことができるところです。その多くの他団体と連携し、ひとの力を存分に発揮するためには、今までの既存の連携先だけにこだわらず、常に前向きな手法を模索し、その上でもっと産官学等の連携を密にし、強固な絆をつくっていかなければなりません。それぞれ一つの団体では成しえない事業を我々が架け橋となり、岡山青年会議所らしく先頭を走り続けるトップリーダーとして、まちにとって必要な事業を我々らしい発想でつくりあげ「おかやま」になくてはならない存在として確かな存在感を示し続けましょう。

また、「おかやま」の夏の風物詩として市民に愛されている「うらじゃ」は、今年 30 回の節目を迎えます。偉大な先輩諸氏が「共生と融和」をテーマに愛情をもって生み育て、多くの方々が関

わりながら成長し続けている「うらじゃ」に関しては、様々な可能性を模索し、もっと広い視点から「おかやま」の更なる賑わいにつながるように、運営に関わっていかなければなりません。様々な困難があるとは思いますが、青年だからできる斬新な発想と確かなビジョンをもって「おかやま」の夏を代表するまつりに情熱をもって取り組んでいきましょう。

交流室（交流から広がる夢）

2025 年度の交流室のテーマは「交流とは自分磨き」です。

我々の活動の中には、様々な方々との交流が必要不可欠です。人とひとが集う場では、お互いが気持ち良く過ごすための礼儀作法やマナーがあります。礼儀は相手に対して敬意や感謝の気持ちを表し、人とひととのつながりを円滑に結び付けてくれるものです。そして、交流の中から学べることも多くあります。ただ顔を合わせるための機会だけではなく、そこで成長するには、共に「おもてなしの精神」に基づく、積極性と学ぶ意識を高くもつことが肝要です。他 LOM や先輩諸氏との交流の機会を最大限に活かし、各々が自ら行動を起こすことで、自分自身を磨き上げていきましょう。

また、我々は運よく同じ時代に生まれ、同じ志の元に集まったメンバーで同志です。この奇跡の上で成り立っている活動の意味と意義を今一度考えてみましょう。そうすれば、メンバー同士で交流することの重要性を再認識することができると思います。メンバーが集う時間は、それぞれが己の時間を調整し、仕事や家族の理解のうえ、やっとの思いで生み出した貴重なものです。使った時間と労力に見合うだけの「対価」が得られなければなりません。その得た「対価」を地域や仕事、家庭に還元してこその青年経済人ではないでしょうか。誰よりも理想を求め、一人ひとりに気付きと学びの場を提供していきましょう。

総務室（夢を支える屋台骨）

2025 年度の総務室のテーマは「時代に合った組織運営の基礎」です。

メンバーを拡大する活動は、我々にとっての基本中の基本です。誰でもチャレンジをすることができ、かつ出会いの中に学びと成長がある拡大活動をもっと楽しんで行うべきです。岡山青年会議所の魅力は「入らなければ分からない」とよく言われますが、だからこそ、その魅力を少しでも伝えるには、拡大活動をする人間がより魅力的であることが必要不可欠です。また、岡山青年会議所の活動を多くの市民の皆様に認知していただく必要があります。マスコミや行政と協力し、そして SNS 等を活用しながら、広く発信し認知を高めます。しっかりとした広報戦略を立て、事業の広報は勿論のこと、LOM 内外への最適な発信をまめにし、その活動意義と成果を伝えることで、岡山青年会議所のブランディングを行います。

岡山青年会議所を支える屋台骨が総務の役割です。メンバー一人ひとりに積極的な活動があり、それが岡山青年会議所の運動となって、まちの大きな発展に寄与しています。そのときに忘れてはならないのは、組織としての社会的信頼です。信頼があってこそ、我々の活動、運動は信用を得られ、円滑に進めていくことができます。時代の移り変わりとともに組織の在り方や求められるものも変わっていきますが、総務は組織の要として、より規律性を高く、コンプライアンスを遵守し、組織の透明性や会計の明瞭さなど、確固たる信念をもって組織の健全な運営に努め

ていきましょう。

むすびに

「If you can dream it, you can do it.」

「夢見ることができれば、それは実現できる。」

ウォルト・ディズニーの名言です。私は、夢のもつ力を信じています。全ての原動力につながるものだと確信しています。岡山青年会議所には多くの人材がいます。私は、様々な経験をさせていただく中で、奇跡的な出会いの数々に恵まれました。一つひとつのめぐり合いがまるで運命だったかのように思えます。その多くの出会いの中で共通して感じるものがあります。それはメンバーの一人ひとりがまちのことを真剣に考え、自分たちが住み暮らすまち「おかやま」をより明るい豊かな社会にするために、大志をもって活動しているというところです。この魅力をもった人材の集団が岡山青年会議所です。

地域やまちをより良くすることは、簡単ではありません。簡単ではないからこそ、自らが抱いた大きな夢を本気で語り合い、それを実現するために全力で突き進むことが、我々が青年として、そしてリーダーとして、示すべき姿なのだと考えています。多種多様な人材がいる「唯一無二」の岡山青年会議所ならば、地域やまちをより良くすることができると、私は信じています。

我々はこれからも、自分たちの思い描く夢を真剣に語り、地域への愛を深め、市民に自分たちが考える理想の姿を示し、それを実現するために仲間と切磋琢磨し、多くの他団体と協力し合い、覚悟をもって何事にも挑戦をしていかなければなりません。それこそが岡山青年会議所の存在意義であり、先輩諸氏から受け継いできた創始の精神だと思います。

その志を我々の世代だけで完結するのではなく、次世代につなげ、全力で前に進み続けることで、今後の岡山青年会議所を今以上に価値のある団体にしていきましょう。志を高くもち、更なる希望に向かって全力で邁進できる我々だからこそ、今後も日本、そして「おかやま」を明るい豊かな社会にすることができると私は信念をもって断言できます。一人ひとりが仲間と共に成長できる活動を進めていきましょう。

最後に、特別会員の皆様、そして関係各位におかれましては、絶大なるご支援、ご協力を賜りますとともに、ご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

# ひとづくり室

# 副理事長方針

公益社団法人岡山青年会議所
2025 年度　ひとづくり室
副理事長兼委員長 大北 大士郎

本年度、妹尾理事長より、ひとづくり室副理事長の大役を仰せつかり、改めてその職責の重さに身の引き締まる思いです。自分に与えられた役職を全うし、全力で妹尾理事長をお支えする所存です。

新型コロナウイルス感染症を乗り越え、多様なメンバーや入会歴の浅いメンバーが増える中でも、岡山青年会議所で運動や活動ができる楽しさや、かけがえのない仲間と友情を育む喜びを感じ、強い結束力が生まれました。しかし、まだまだ厳しい時代が続く昨今では「おかやま」のまちを牽引できる強くしなやかなリーダーが求められます。そこで岡山青年会議所の根幹でもある「ひとづくり」を通じて膝と膝を突き合わせ、仲間と共に切磋琢磨し、修練を重ねることで自己成長し、他者やまちを愛し地域に貢献できる人材を育成してまいります。そのためには新会員だけではなくメンバー全員が積極的に参加し、全ての物事を成長の機会ととらえることのできる環境を提供し続けることが私の使命の一つと考えます。メンバーの誰もが夢を描き「おかやま」の明るい未来の実現に向けてビジョンを明確にして果敢に挑戦していきましょう。

最後になりますが、特別会員、現役会員の皆様におかれましては、より一層のご指導、ご鞭撻、そしてご支援ご協力を衷心よりお願い申し上げます。

# まちづくり室

# 副理事長方針

公益社団法人岡山青年会議所
2025 年度　まちづくり室
副 理 事 長　二 垣　幸 広

本年度、妹尾理事長よりまちづくり室副理事長という大役を仰せつかり、光栄であると同時にその重責を強く感じております。久保常任理事、安原委員長率いるビジョンおかやま確立委員会、堀委員長率いるドリームおかやま創造委員会と共に我々がまちと市民に夢を与えられる存在となるよう活動や運動に邁進してまいります。

我々の住み暮らす岡山市は、交通の利便性、温暖な気候や災害の少なさ、歴史と文化など多くのポテンシャルを秘めた魅力あるまちです。岡山青年会議所でしか成し得ない発想力と行動力を用いて、今あるまちの資源を最大限に引き出し、市民に気付きや希望を与えられるよう事業を展開いたします。また、まちの未来である青少年の育成は、まちづくり団体である我々にとって必要不可欠な職務であります。一瞬遠回りと思えど郷土おかやまを活気づける一番の近道ととらえ、多種多様な経験を通じて新たな視野や考え方を提供し、無限の可能性を広げていきます。

最後になりますが、誰もが夢を描き夢を語れるよう我々こそが郷土おかやまの希望であり続けるため、全身全霊で職務を遂行してまいります。特別会員、現役会員の皆様には、より一層のご指導ご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

# 連携室

# 副理事長方針

公益社団法人岡山青年会議所
２０２５ 年 度　　連 携 室
副 理 事 長　大 塚　真 弘

本年度、妹尾理事長より連携室副理事長という大役を拝命し責務の重さを強く感じております。妹尾理事長をお支えするのはもちろんのこと、他室の副理事長をはじめとする岡山青年会議所メンバー全員と連携を図り強固な絆を作ることで、地域との夢の架け橋となれるよう挑戦を続けていく所存でございます。連携室といたしましては、中西常任理事と共に、田中委員長率いる「地域連携向上委員会」と、藤澤委員長率いる「うらじゃ委員会」を担当させていただきます。岡山に存在する各種団体や学校・企業などと連携し、決して単体では成し得ない事業を、これまでにない発想で展開し地域に根付かせていくことはもとより、何よりその連携の旗振り役となることで、地域に岡山青年会議所の存在感を強く示してまいります。また、今年で第30回という大きな節目を迎える、「うらじゃ」においても、郷土おかやまにさらなる賑わいを創出することを念頭に、従来の手法だけにとらわれることなく、ひと・まちが共に成長できるまつりとなるよう全力で取り組んでまいります。

最後になりますが、特別会員、現役会員の皆様におかれましては一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

# 交流室

# 副理事長方針

公益社団法人岡山青年会議所
２０２５ 年 度　 交 流 室
副 理 事 長　 青 山　 雅 史

妹尾理事長のもと交流室担当副理事長という大役を拝命し、大変身の引き締まる思いです。今年度は、五十嵐委員長率います例会委員会と、滝波委員長率います渉外委員会を担当させていただき、青年会議所活動の意味と意義を今一度考えて、「交流とは自分磨き」をテーマに活動してまいります。

同じ志の元に集まったメンバー同士とは「気づきと学び」を培う場として、また多くの市民の皆様へは「岡山青年会議所創設 75 周年の感謝」の場として提供します。青年会議所活動の時間は仕事や家族の理解の上、やっとの思いで生み出した貴重な時間です。私たち自らも「挑んで学ぶ自分磨き」の場となる活動を積極的に行います。

ただ顔を合わせるための機会を設えるだけではなく、相手に対して敬意や感謝の気持ちを表し心地良い設えをすることが岡山青年会議所の「おもてなしの精神」です。かけがえのない一期一会の貴重な機会に、他 LOM や先輩方との交流の機会を最大限に活かし、メンバー全員が積極性と学ぶ意識を高くもつことで、「自分磨き」の場になると確信しています。

最後に、特別会員・現役会員の皆様方には一層のご指導ご鞭撻、ご支援ご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

# 総務室

# 専務理事方針

公益社団法人岡山青年会議所
２０２５ 年 度　 総 務 室
専 務 理 事　竹 中　広 太

本年度、妹尾理事長より専務理事の職を仰せつかり、重責に身が引き締まる思いです。全力で妹尾理事長をお支えすることはもちろんのこと副理事長を補佐し、岡山青年会議所の夢を支える屋台骨として職務にあたる所存です。

総務室としましては、岡山青年会議所の魅力を余すことなく対内外へ発信するための広報活動、それによりつながる会員拡大活動に注力してまいります。事業の告知や報告をすることに留まることなく、時代に合った様々な広報の手法を模索することは必ずメンバーの社業へも活き、そして魅力ある団体としてブランディングしていくことでより良い人材の発掘、会員拡大へつながると確信しております。また公益団体としての高い透明性と明瞭な予算管理、コンプライアンス徹底を意識したうえで、各委員会が計画する事業の成果を最大化できるようメンバーの夢の一番の味方でいることを意識し活動してまいります。健全な組織運営を心掛け誰もが夢を抱き活動できる環境整備を行うことで、より良い好循環を生み出すことは我々の責務です。

最後になりますが、特別会員、現役会員の皆様にはより一層のご指導ご鞭撻、ご支援ご協力を賜りますよう衷心よりお願い申し上げます。

# まちづくり室

# 常任理事方針

公益社団法人岡山青年会議所
2025 年度　まちづくり室
常任理事　久保　和裕

本年度、妹尾理事長よりまちづくり室常任理事という身に余る大役を仰せつかり、責任感をひしひしと感じております。二垣副理事長、そして安原委員長率いるビジョンおかやま確立委員会、堀委員長率いるドリームおかやま創造委員会と共に、常に明日の「おかやま」を考え、汗を流し、まちと市民に夢を与えられる存在となるよう活動や運動に尽力してまいります。

より市民に必要とされる団体となるべく、今の「おかやま」には何が必要であるかを考え、この魅力ある岡山市の可能性をより一層広げるため、岡山青年会議所の強みである若者ならではの発想力と行動力を活かし、まちの資源を最大限に引き出し、市民に夢や希望を与えられる存在となるよう事業を展開いたします。さらに、おかやまの将来を担う青少年の育成が不可欠であり、子供たちの無限の可能性に新たな経験や価値観を提供し、夢を広げていくことにも力を注ぎ、まちづくりを通じて誰からも愛され頼られる「唯一無二」の団体としてあり続けるために、誠心誠意尽力してまいります。

最後になりますが、特別会員、現役会員の皆様におかれましては、本年度も引き続きのご指導ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

# 連携室

# 常任理事方針

公益社団法人岡山青年会議所
２０２５ 年 度　 連 携 室
常 任 理 事　 中 西　 大 輔

本年度、妹尾理事長より連携室常任理事という重要な役割を拝命し、その責任の重大さを深く感じています。このポジションを任されたからには、多方面との連携を深めるために、私たちが誰よりも強い情熱をもち全力で取り組む必要があります。連携の実現は結果として現れるものであり、そのために活動するのではなく、自分たちだけでは達成できない目標を設定し、その実現に向けた熱意や理念を共有し、賛同を得るために不断の努力を重ねる所存です。リーダーとしての存在感を発揮するためには、明確なビジョンを掲げ、その実現に向けた具体的な行動を示し続けることが重要です。

これまで築かれてきた連携の成果を尊重しつつも、常に新しい挑戦に取り組む姿勢をもち続けます。青年ならではの斬新な発想と行動力を駆使して、さらなる進化を目指します。具体的には、新たな取り組みや意見交換を通じて多角的な視点からの改善を追求し、既存の枠組みを超える提案を行っていきます。連携の強化には、相互の理解と協力が不可欠であるため、積極的なコミュニケーションを心掛け、関係者との信頼関係を築いていくことも大切です。私たちの掲げる目標に対する情熱を周囲に伝え、一緒に成し遂げられるよう全力で取り組みます。

# ひとづくり室

# 会員研修委員会事業計画(案)

公益社団法人岡山青年会議所
2025 年度　ひとづくり室
会　員　研　修　委　員　会
副理事長兼理事委員長 大北 大士郎

昨今の岡山青年会議所はコロナ禍前コロナ禍後に入会したメンバー、そして多種多様な業種のメンバーが増える中でも強い結束力を発揮し様々な事業を展開してきました。世間でも多様性という言葉が広く周知され、個人の価値観や文化が尊重される今だからこそ岡山青年会議所の根幹である「ひとづくり」に重きを置きます。多様性の中にも岡山青年会議所が受け継いできた不易の部分や確固たる「ひとづくり」の精神を伝え、真の友情を培い、膝と膝を突き合わせられる関係性の構築が必要です。

会員研修委員会では新会員勉強会を実施し知見を深め、幅広い視野をもち活動に取り組んでもらいます。そのために地域に根差しながらも広いフィールドで活躍し、ひとやまちの事を常に想われている岡山青年会議所の特別会員にご講演をいただき JC 活動の意義や目的、今後の活動を有意義にするための心構えを学ぶ機会を創出します。会員研修委員会のプログラムでは自らと向き合い、繰り返し自問自答を行う場を提供することで自己成長のビジョンを明確にします。また新会員全員で一枚岩となり困難な壁を乗り越えることで一人では経験することのできない感動や達成感、かけがえのない友情や絆を育みます。そして最後はLOM内での親睦事業として背景や目的を深掘りし、企画立案から事業の実施を経て岡山青年会議所の事業構築の基礎を学び、感謝の心をもって設営をすることでおもてなしの精神を養います。研修プログラム以外にも日本青年会議所、中国地区協議会、岡山ブロック協議会、LOM 事業、同好会等、対内外で仲間を作り成長の機会を提供していただける場へ率先して参加をします。

会員研修委員会では参加や手法にこだわるだけではなくその趣旨や意味を伝え、常にメンバーを尊重し､教わる側だけではなく教える側も学びを得ることができる｢ひとづくり｣を行います。ひとなくしてまちの未来はありません。会員研修委員会を通じてひとやまちを愛し、誰もが夢を描ける明るい未来の岡山を創出し、一人ひとりが仲間と共に成長できる活動を進めていきましょう。

# まちづくり室

# ビジョンおかやま確立委員会事業計画(案)

公益社団法人岡山青年会議所
2025 年度　まちづくり室
ビジョンおかやま確立委員会
理事委員長　安原　和宏

私たちの住む岡山というまちは、全国的に見ても交通の利便性がよく、災害も少なく気候にも恵まれ、近年、アートなどの芸術文化も注目されている地域です。昨今では中心部の改装が進み、これまで以上に過ごしやすいまちづくりが行われています。しかし、都市部に比べ地域の魅力を周知させる活動や、市民が中心となった地域活性化はまだ不足している現状があります。

ビジョンおかやま確立委員会では、市民にとって過ごしやすいまちづくりを確立していくため、団体や企業、市民を巻き込んだ、岡山青年会議所だからできる、新しい地域活性化事業を構築いたします。これにより、我々だけではなく地域や市民一人ひとりがこれからの岡山の地域活性を考え、活動していただきます。さらに、郷土おかやまの様々な資源を深掘りし、県内外に岡山の魅力を周知させることで、新たなまちづくりの礎を築き上げ、地域の発展の可能性を広げていきます。その結果、岡山の今ある資源の価値をこれまで以上に高め、市民や行政にとって利用しやすい環境づくりを行ってまいります。そして、全ての事業において我々がこれまでに築いた豊富な経験と知識を活かし、若者ならではの自由な発想力でまちづくりに取り組んでいくことで、岡山の市民に新たな可能性の気付きとさらなる地域の発展へとつなげていきます。また、岡山青年会議所が先頭に立って、行政・他団体・地域を巻き込み、岡山にしかない地域の強みを最大限に活かした事業を行い、一つひとつのまちづくりの価値を高める活動を目指してまいります。

岡山青年会議所がまちの未来へのビジョンを想像し、まちづくりを行うことで、市民にとって今ある資源が地域に欠かせない価値のある資源に変わり、市民にとって住みやすいまちになると確信しています。「まち」と「ひと」が共に成長していくため、岡山青年会議所のメンバーが「ひと」とのつながりを大切にし、岡山のまちに誇りをもち、市民に必要とされる存在になるべく邁進してまいります。一人ひとりが仲間と共に成長できる活動を進めていきましょう。

# まちづくり室

# ドリームおかやま創造委員会事業計画(案)

公益社団法人岡山青年会議所
2025 年度　まちづくり室
ドリームおかやま確立委員会
理 事 委 員 長　堀　勝 之

郷土おかやまは山や川など自然豊かな環境下にあり、温暖な気候に恵まれ、晴れの国との愛称で親しみをもたれ青少年の育成をしていく環境にとても恵まれています。しかしながら、時代が変化するにつれて利便性の向上、生活環境の変化、価値観の多様化が進み、体験の格差は広がっており夢や希望、やりたいことに取り組むきっかけが十分ではない現状があります。

ドリームおかやま創造委員会では、青少年がまずはやってみることができる環境をつくることで、未来を担う青少年が岡山のまちに愛情と夢をもつことのできる青少年育成事業を実施いたします。事業を通じて青少年の可能性に向き合い参加者が得意なことや苦手なことに取り組み、チームワークを重視し達成できる目標の設定を取り入れます。そのなかで、視野やコミュニケーション能力を養成し役割や責任感が学べる事業を展開することにより夢への広がりへとつないでいきます。また、次世代を担う青少年が自立と自己実現を図るとともに、社会への貢献を果たす学びとなる事業にも取り組みます。専門的な講師と連携し将来の自信とまちに夢をもつことのできるプログラムを展開し、テーマを決め課題解決に取り組み希望や夢をもつ、きっかけづくりとなる機会を提供します。そして、青少年の意識を高め、意見や考えを伝える機会を創出し、岡山のまちに対する魅力の発信へとつなげるとともに活動範囲を広げます。そのためには、私たちが誰よりも積極的な行動力と主体性を持ち地元企業や行政、他の団体と連携し強化を高めながら青少年参加型の魅力あるプログラムを提供していきます。既存の取り組みを強化し、岡山の魅力をより広く発信するとともに新たな課題に果敢に取り組み革新的な手法を模索します。

メンバーと協力してプログラムを考え、同じ目標に向かい参加にこだわる事業を行うことで、メンバー全員の成長へとつながると確信しております。新しいことにも挑戦し事業を通して夢を語り合い、希望をもつ重要性に取り組み一人ひとりが仲間と共に成長できる活動を進めていきましょう。

# 連携室

# 地域連携向上委員会事業計画(案)

公益社団法人岡山青年会議所
２０２５ 年 度　 連 携 室
地 域 連 携 向 上 委 員 会
理事委員長　田中　康次朗

岡山のまちには様々な団体があります。数ある団体はまちのために尽力し、個性に特化しているものの、お互いが出会う機会が少なく連携を取れていない現状があります。それらの団体と新たに連携し、夢と情熱をもって取り組むことで、地域全体を持続的に発展させていきます。市民一人ひとりの声を大切にしていき、共に未来を創造するための努力を惜しまず、地域の活性化を目指して活動を続けていかなければなりません。

そのために、まずは岡山青年会議所と連携協定を結んでいる産官学とこれまで以上に密に連携をとり、これからのまちに必要なことを岡山青年会議所が発信していきます。上手く連携を取り合うことで、人とひとの出会いが新たに生まれます。また、多数の団体が共に手を取り合うことで、地域全体を活性化させることと、人とひとの繋がりが広がることが可能となります。私たち岡山青年会議所は、豊富な経験と様々な団体との関係を築いてきた実績を持つ組織として、より多くの団体と市民を結びつけ、地域と連携しさらにお互いが向上していくという使命を果たしていかなければなりません。地域との連携を強化していく中で、岡山青年会議所がトップリーダーとして事業を主導し、後世まで引き継いでいける活動を展開していきます。これには様々な団体や個人との協力が必要不可欠です。これらの団体が持つ情報や知識を共有していくことで、各団体の強みを活かしたより効果的で持続可能な活動を実現させます。

当委員会は一年を通じて、産官学と連携し、若者らしい発想を活かした事業を展開します。これにより、まちに欠かせない存在としての確かな存在感を示し、岡山の魅力を発信していきます。また、新たな連携先との関係を築き、まちのために尽力し、より住みやすいまちを実現するために、人々が手を取り合い、すべての人が笑顔で共存できる社会を築きます。地域の方々との連携を深めることで、まちと市民をつなぐ架け橋となり、様々な取り組みを通じて、一人ひとりが夢をもち仲間と共に成長できる活動を進めていきましょう。

# 連携室

# うらじゃ委員会事業計画(案)

公益社団法人岡山青年会議所
２０２５年度　連携室
うらじゃ委員会
理事委員長　藤澤　謙

「うらじゃ」は、「共生と融和」をテーマに先輩諸氏の郷土おかやまへの想いと、未来への情熱により愛情をもって生み育て、継承されてきました。近年はコロナ以前と比べ、踊り連数、来訪者が戻り切っていない現状があります。参加することで得られる達成感や満足感を多くの市民と共有することで地域の一体感を生み、郷土おかやまへの愛着を育み次世代へつなげていくことが重要だと考えます。

本年度、「うらじゃ」は第30回目という大きな節目を迎えます。第30回目を迎えるにあたり、今まで以上に他団体や地域と連携を図り、様々な可能性を模索し、もっと広い視点から「おかやま」の更なる賑わいにつなげ「うらじゃ」を今まで以上に市民から愛されるまつりにしていかなければなりません。過去から継承されてきた伝統を時代の流れに合わせて変化させ郷土おかやまに更なる賑わいをもたらす「うらじゃ」を創出します。若者らしい斬新な発想を取り入れることで「うらじゃ」の価値を高め、関わる「ひと」全員が楽しみ、幸せを感じられるまつりにしていきます。そこで感じた魅力を参加者それぞれが発信し、周囲の人を巻き込んでいく取り組みをします。そのためにあらゆる手法や可能性を検討し、状況に応じて柔軟に対応していきます。多種多様なメンバーが在籍する、岡山青年会議所だからこそ、企業･市民だけでなく、行政やマスコミとの連携、踊り連やボランティア等を巻き込みよりよいまつりにできると確信しています。参加した誰もがまた参加したいと思えるようなまつりを創り市民の誰もが「うらじゃ」を愛し、おかやまの文化として誇りをもてるようなまつりにしていきます。

私たちメンバー一人ひとりが未来の「うらじゃ」を想い行動し、「おかやま」の夏の風物詩を次の世代へ引き継いでいかなければなりません。より多くの市民から愛されるまつりであり続けるために、様々な可能性を模索し、多方面から物事を捉え郷土おかやまの発展という夢を実現できるように先頭に立ち、一人ひとりが仲間と共に成長できる活動を進めていきましょう。

# 交流室

# 渉外委員会事業計画(案)

公益社団法人岡山青年会議所
２０２５ 年 度　 交 流 室
渉　外　委　員　会
理事委員長　滝波　深介

岡山青年会議所の創始の精神は今現在も我々が大切にしている「ひとづくり」と「まちづくり」への希望に密接に関わっている重要な行動指針であります。長い歴史のある岡山青年会議所は先輩方のご尽力とメンバーの拡大活動への熱意で、仲間は着実に増えています。メンバーにとって青年会議所活動の時間は貴重です。同じ志をもった同世代の仲間が限られた時間の中で、絆を深め人生を豊かにするために出会いの場を創出する必要があります。

新年賀詞交歓会では特別会員や来賓、各地会員会議所の皆様に対し組織のビジョンや将来の展望を明確に伝える大切な機会です。また出向者を支援する場を設けメンバーに出向の意味や意義、活動が共有できるようにし、出向経験のないメンバーが将来、積極的に出向したいと思える場を創出します。各事業にメンバーが積極的に参加していただけるように、日本青年会議所や中国地区、岡山ブロック協議会の情報を迅速にメンバーに伝達いたします。そして友好 LOM 交歓会では岡山青年会議所メンバーが一枚岩となってお迎えし、参加していただいた各地会員会議所との関係強化を構築するとともに、参加する側の立場の際にも意味や意義を伝え、メンバー同士の一生の友情を育む機会を提供いたします。卒業事業では昭和 60 年生まれの卒業生を、特別会員の方々に迎え入れていただく場を創出いたします。日本青年会議所や JCI が主催する事業には、開催意義や現地の魅力を伝えることで、より多くのメンバーに足を運んでいただき、青年会議所のネットワークを最大限に活かした会員交流の機会を提供してまいります。

2025 年の交流室のテーマは「交流とは自分磨き」です。岡山青年会議所の交流の場は各々が自ら行動を起こすことで自分自身を磨ける環境です。渉外委員会ではただ顔を合わせるための機会ではなく、そこで成長するには、共に「おもてなしの精神」に基づく積極性と学ぶ意識を高くもつことが肝要です。岡山青年会議所で夢を語りメンバー同士の絆を深め、一人ひとりが仲間と共に成長できる活動を進めていきましょう。

# 総務室

# 会員拡大広報委員会事業計画(案)

公益社団法人岡山青年会議所
２０２５ 年 度　 総 務 室
会 員 拡 大 広 報 委 員 会
理 事 委 員 長　木 村　勝 也

近年、入会歴の浅いメンバーが増えており、この変化にどのように対応していくかが重要な課題となっています。しかし岡山青年会議所には、郷土おかやまの発展に寄与してきた長い歴史と、過去の事業を通じて培われた価値、そして、これから未来を築いていく志を持った会員が揃っています。この積み重ねた歴史と未来への展望を活かし、我々の団体の強みをさらに紡いでいく必要があります。

本年度の会員拡大広報委員会の目標は、LOM として地域での影響力をさらに高めるため、広報活動に力を入れ、我々の活動を地域全体に伝えることです。これにより LOM の成長とともに、より多くの仲間を迎え入れ、地域の課題解決に貢献していくことを目指します。さらに、多様な職種を網羅することで青年会議所の運動がより幅広い層に伝わり、地域の青年世代一人ひとりにその魅力がしっかりと届くよう努めます。しかし、ただ単に会員数を増やすだけではなく、組織としての質をしっかりと維持しながら、地域での影響力を一層高めていく必要があります。質の高い活動を通じて、地域における青年会議所の役割を確立し、信頼される存在になることが重要です。魅力的な団体には、必然的に優れた人材が集まります。我々はそのような魅力を持ち続ける団体であり続け、さらにその魅力を積極的に発信していかなければなりません。また会員拡大の重要性を再認識するために、外部講師を招いて講演を依頼し、その豊富な経験や知識を現役メンバーに共有していただきます。この講演を通じて、各メンバーが自らの役割や使命を再確認し、組織の未来に対する自信と誇りを深めるとともに、団体の成長に対する責任感を一層強めることを目指します。

岡山青年会議所は、これまで築いてきた歴史と価値を尊重しながら、新たな目標に向かって挑戦を続けます。次世代への継承を意識し、会員拡大と地域貢献に積極的に取り組むことで、未来へと繋がる実りある一年を築き上げていくことを誓います。我々の使命を果たし、一人ひとりが仲間と共に成長できる活動を進めていきましょう。

# 総務室

# 総務委員会事業計画(案)

公益社団法人岡山青年会議所
２０２５ 年 度　総 務 室
総　務　委　員　会
理 事 委 員 長　杉 岡　裕

岡山青年会議所は、快適で活力がある「まち」を創るために行動できる「ひと」を育成することで、郷土おかやまの発展に貢献してきました。創立から 75 周年の節目を迎える今、郷土おかやまのさらなる発展に向けて、大きな夢を描き勇猛果敢に運動を起こしていくことが求められています。地域から求められる組織に進化していくために、盤石な組織体制を構築するとともに、時代に即した組織運営を徹底することが必要不可欠です。

本年度の総務委員会は、これまで培ってきた社会的信頼を引き継ぐべく、公益団体であることを強く意識し、規則やコンプライアンスを遵守するとともに、時代の移り変わりに合わせて柔軟性をもった組織運営に努めてまいります。そして各委員会の夢を共有する味方として、組織の活動が円滑に進むよう最大限サポートしてまいります。また、総務委員会のメンバーは自身の立場に囚われず、常に組織全体に目を向け、あらゆる活動や事業運営を支えてまいります。財政・規則及び公益を守る最後の砦として各種マニュアルや書式の整備を行うとともに、全ての事業計画等の資料に対して事前に各自が指摘事項を挙げて委員会間で共有し、質の高い事業の実現につなげます。理事会や総会の会議運営では、定款に沿った適切な運営を徹底いたします。予定者セミナーでは各役職の職責を理解していただくとともに、メンバー全体の意識向上や委員長、副委員長、幹事同士の連携を深めていただきます。さらにセミナー等を通して議案構築や会費管理をサポートしてまいります。加えて、代表世話人会、シニアクラブ総会、歴代理事長会議を通じて先輩諸氏のご活動に触れ、歴史や格式を学び後世に引き継いでいきます。

まず、総務委員会が組織を支える「屋台骨」としての職責を理解し、組織の透明性や会計の明瞭性を確保して、健全な組織運営を心掛けます。誰もが夢を抱き活動できる環境を整備することで、自らが抱いた夢を本気で語り合い、それを実現するために全力で突き進み、一人ひとりが仲間と共に成長できる活動を進めていきましょう。

公益社団法人岡山青年会議所 2025年度 委員会職務分掌(案)

【会員研修委員会】
・会員拡大「前期新会員2名・後期新会員2名の獲得」
・変革の時代に相応しい手法による新会員研修のあり方の模索、実践
・青年経済人としての礼儀礼節・マナーの研修
・JCI Creed・JCI MISSION・JCI VISION、JC宣言・綱領、岡山JC三信条及び長期ビジョンの啓蒙
・講師委員会の開催
・3分間スピーチの実施
・団結して困難に立ち向かい、切磋琢磨しながら一つのことを為すことにより友情を築くプログラムの実施
・LOM内親睦事業の企画・運営を通して、礼儀礼節とおもてなしに溢れる設営や利他の精神を学ぶプログラムの実施
・コミュニティープラザの開催
・他委員会への委員会訪問の実施
・各連携協定団体への支援・協力
・LOM開催事業への積極的参加と協力
・日本 JC、中国地区協議会、岡山ブロック協議会開催事業への積極的参加と出向者への支援・協力
・「うらじゃ」への支援・協力
・創立75周年記念式典・祝賀会への支援・協力
・創立75周年記念公開例会への支援・協力

【ビジョンおかやま確立委員会】
・会員拡大「前期新会員2名・後期新会員2名の獲得」
・郷土おかやまの未来を確立していくための事業の企画・実施
・郷土おかやまの魅力再発掘・可能性を広げる地域活性化事業の企画・実施
・災害時における対応
・各連携協定団体への支援・協力
・LOM 開催事業への積極的参加と協力
・日本JC、中国地区協議会、岡山ブロック協議会開催事業への積極的参加と出向者への支援・協力
・うらじゃへの支援・協力
・創立75周年記念式典・祝賀会への支援・協力
・創立75周年記念公開例会への支援・協力

【ドリームおかやま創造委員会】
・会員拡大「前期新会員 2 名・後期新会員 2 名の獲得」
・各連携協定団体への支援･協力
・地域活性化を図る人材育成事業の企画・実施
・青少年の可能性を広げ岡山の人材の夢を育む事業の企画・実施
・LOM 開催事業への積極的参加と協力
・日本 JC、中国地区協議会、岡山ブロック協議会開催事業への積極的参加と出向者への支援協力
・「うらじゃ」への支援・協力
・創立 75 周年記念式典・祝賀会への支援・協力
・創立 75 周年記念公開例会への支援・協力

【地域連携向上委員会】
・会員拡大「前期新会員 2 名・後期新会員 2 名の獲得」
・他団体との結束力を強化する事業の企画・実施
・新しい連携先との結束力を強化する事業の企画・実施
・各連携協定団体への支援･協力
・LOM 開催事業への積極的参加と協力
・日本 JC、中国地区協議会、岡山ブロック協議会開催事業への積極的参加と出向者への支援･協力
・「うらじゃ」への支援･協力
・創立 75 周年記念式典・祝賀会への支援・協力
・創立 75 周年記念公開例会への支援・協力

【うらじゃ委員会】
・会員拡大「前期新会員 2 名・後期新会員 2 名の獲得」
・うらじゃ開催支援広告募集事業の企画･実施
・うらじゃ振興活動の企画・実施
・報道機関への対応および行政･報道機関意見交換会の検討･実施
・第 30 回うらじゃ実行委員会への参画
・うらじゃ振興会への参画
・うらじゃ実行委員会 総務部会業務マニュアルの更新
・各連携協定団体への支援･協力
・LOM 開催事業への積極的参加と協力
・日本 JC、中国地区協議会、岡山ブロック協議会開催事業への積極的参加と出向者への支

援･協力
・創立 75 周年記念式典・祝賀会への支援・協力
・創立 75 周年記念公開例会への支援・協力

【渉外委員会】
・会員拡大「前期新会員 2 名・後期新会員 2 名の獲得」
・特別会員・現役会員合同新年賀詞交歓会の企画・設営・実施
・出向者を支援する事業の企画・設営・実施
・スポンサーLOM・友好 LOM との連絡調整及び交歓会の企画・設営・実施
・姉妹 LOM との積極的交流の推進
・昭和 60 年生まれ卒業事業の企画･設営･実施
・ASPAC、世界会議への積極的参加を促す手法の検討・構築及び参加の取りまとめ
・各連携協定団体への支援・協力
・LOM 開催事業への積極的参加と協力
・日本 JC、中国地区協議会、岡山ブロック協議会開催事業への積極的参加と出向者への支援・協力
・「うらじゃ」への支援・協力
・創立 75 周年記念式典・祝賀会への支援・協力
・創立 75 周年記念公開例会への支援・協力

【例会委員会】
・会員拡大「前期新会員 2 名・後期新会員 2 名の獲得」
・ブロック会長公式訪問例会企画・設営・実施
・企画例会企画・設営・実施
・創立 75 周年記念式典・祝賀会の企画・設営・実施
・創立 75 周年記念公開例会の企画･設営･実施
・さよなら例会企画・設営・実施
・前期例会企画・設営・実施
・後期例会企画・設営・実施
・各連携協定団体への支援・協力
・LOM 開催事業への積極的参加と協力
・日本 JC、中国地区協議会、岡山ブロック協議会開催事業への積極的参加と出向者への支援・協力
・「うらじゃ」への支援・協力

【会員拡大広報委員会】

・会員拡大「前期新会員 4 名・後期新会員 4 名の獲得」
・LOM が拡大しやすいように協力
・会員拡大の重要性の説明、意識の向上
・新年賀詞の記者会見
・対内・対外的な広報の見直し及び検討・実施
・LOM における広報のスタンダードの確立
・広報誌「暖流」の発行
・ホームページの制作・運用
・報道機関への対応及び行政・報道機関意見交換会の検討・実施
・各連携協定団体への支援･協力
・LOM 開催事業への積極的参加と協力
・日本 JC、中国地区協議会、岡山ブロック協議会開催事業への積極的参加と出向者への支援･協力
・「うらじゃ」への支援･協力
・創立 75 周年記念式典・祝賀会への支援・協力
・創立 75 周年記念公開例会への支援・協力

【総務委員会】
・会員拡大「前期新会員 2 名・後期新会員 2 名の獲得」
・会計経理事務及び慶弔関係事務の実施、庶務規則に沿った事務局運営
・総会、執行部会議、理事会の設営・運営と議事録並びに会議録の作成・管理
・各委員会事業計画、収支予算、補正予算並びに事業報告、収支決算の内容精査と各会議への上程資料精査
・議案上程方法の見直しとデジタル会議運営の推進
・収支予算書、収支決算書の作成並びに修正予算、補正予算、中間決算の実施
・2025 年度基本資料、事業報告書、会員手帳の作成及び追加
・LOM 年間スケジュールの作成・確認
・理事長公職の整理・調整
・個人情報の管理及び管理データの見直し
・理事合宿、理事委員長・副委員長・幹事予定者セミナー、議案書セミナーの企画・設営・開催
・委員会費監査等の実施
・シニアクラブ総会、世話人会、歴代理事長会議の設営・開催
・岡山ブロック JC シニアクラブの設営・開催
・日本 JC への入会促進
・JCCS への登録促進

・JC ルーム・倉庫内の備品管理と発注
・情報公開の精査と実施
・事業報告書のデータ保存・管理
・LOM 開催事業への積極的参加と協力
・日本 JC、中国地区協議会、岡山ブロック協議会開催事業への積極的参加と出向者への支援・協力
・「うらじゃ」への支援・協力
・創立 75 周年記念式典・祝賀会への支援・協力
・創立 75 周年記念公開例会への支援・協力

# 監事抱負

公益社団法人岡山青年会議所
2025 年度 監事 藤原 由季子

この度、妹尾理事長より公益社団法人岡山青年会議所 2025 年度、監事の大役を仰せつかり、その重責を強く感じており、改めて身の引き締まる思いであります。歴史と伝統ある岡山青年会議所の監事としての責任と自覚をもち、職務を全うする所存でございます。

今一度、岡山青年会議所の不易と流行に思いを馳せ、組織図上どこの室にも所属しない唯一の役職として俯瞰的な立場で、妹尾理事長が理想として掲げる想いが本年度の活動に反映されているか、適切な事業実施と会計処理が行われているか等を精査し、公益法人格としての組織のあり方や真にこの「まち」に求められる活動を追い求め、厳正に監査してまいります。

また、単に監査をするのみではなく、俯瞰的立場を活用しながら、これまでの活動で得た経験や諸先輩方から学んできたことをこれからの岡山青年会議所を築いていくメンバーにしっかりと伝え、LOM の未来に資するための礎を築いてまいります。

最後になりますが、青年会議所活動の集大成として、もう一度初心に立ち返り、誠心誠意職務を全うしてまいりますので、敬愛する先輩諸兄並びに現役メンバーの皆様におかれましては、本年度も引き続きのご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

# 監事抱負

公益社団法人岡山青年会議所
2025 年度 監事 三垣 章一

2025 年度、妹尾理事長より監事を仰せつかり職責の重さを受け止め、岡山青年会議所を監査する立場として改めて自分自身も襟を正さなければならないと感じています。

昨今、激動する時代の中で考え方や動き方の差が様々な場面でメンバー間に生まれてしまっています。そういった差は必ずしも悪いものではなく導く者次第では大きな成長を生む素材になると私は考えています。監事として守破離を強く意識し、多様な考えをもつメンバーに対して俯瞰的な立場から助言をすること、私自身の言動や姿勢からも学びや成長につながるよう活動していきます。

本年度、妹尾理事長が想い描く夢が組織に明確なビジョンをもたらし、起こした運動が「まち」に浸透すること、メンバー一人ひとりが自分の夢に対して明確なビジョンを創造できる。そんな貴重な一年間だったと活動を締めくくれるように活動することを誓い申し上げます。

最後になりますが質実剛健の気持ちを大切にし、多くの経験と友人を与えてくれた岡山青年会議所に誠実に精一杯の恩返しをしていく所存でございます。特別会員の皆様、現役会員の皆様、関係各位の皆様におかれましては変わらぬご指導ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。

# 公益社団法人岡山青年会議所　2025年度　組織図

総会

理事会

直前理事長：大森　将平

理事長：妹尾　愛希

監事：藤原　由季子／三垣　章一

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | 委員長 | 副委員長 | 幹事 | 委員 |
| ひとづくり室 副理事長 | 大北　大士郎 | | | 会員研修委員会 | 大北　大士郎 | 岸本 啓吾 | 梶原 一義 | 倉元 宏光 | 渡邉 陵太 |
| | | | | | | | | 田渕 伊織 | |
| | | | | | | 新後 善弘 | | 鶴田 康仁 | |
| まちづくり室 副理事長 | 二垣　幸広 | 常任理事 | 久保　和裕 | ビジョンおかやま確立委員会 | 安原　和宏 | 川上 康人 | 井尻 裕之 | 井脇 康文 | 林 良洵 |
| | | | | | | 森田 貴統 | | 大倉 直己 | |
| | | | | | | | | 國定 裕太 | |
| | | | | ドリームおかやま創造委員会 | 堀　勝之 | 臼田　陽平 | 髙橋 政司 | 小野 優 | 村上 裕紀 |
| | | | | | | 原 拓矢 | | 砂古 和宏 | 森上 真夢 |
| | | | | | | | | 中塚 修平 | 脇本 光 |
| 連携室 副理事長 | 大塚　真弘 | 常任理事 | 中西　大輔 | 地域連携向上委員会 | 田中　康次朗 | 畠中 康行 | 小森 一輝 | 片岡 大地 | 武元 浩 |
| | | | | | | 山口 猛 | | 城戸 貴登 | 舟木 康平 |
| | | | | | | | | 角南 慶英 | |
| | | | | うらじゃ委員会 | 藤澤　謙 | 国司田 孝介 | 太宰 啓太 | 大熊 一旗 | 星島 大伍郎 |
| | | | | | | 藤田 卓也 | | 洲脇 健太 | 槙山 大介 |
| | | | | | | | | 谷川 明弘 | |
| 交流室 副理事長 | 青山　雅史 | | | 渉外委員会 | 滝波　深介 | 梶岡 洋佑 | 小林 侑生 | 石田 祐己 | 本田 聖 |
| | | | | | | 花房 利宇 | | 田村 陵 | 福永 涼人 |
| | | | | | | 山田 健二 | | 平林 久尚 | |
| | | | | 例会委員会 | 五十嵐　尚輝 | 池元 純一 | 与田 雄人 | 梶谷 拓史 | 薮崎 聡 |
| | | | | | | 大川 直人 | | 國代 健介 | 吉永 拓末 |
| | | | | | | 松本 卓也 | | 三知矢 湧斗 | |
| 総務室 専務理事 | 竹中　広太 | | | 会員拡大広報委員会 | 木村　勝也 | 大田 武勇 | 青山 あゆみ | 大田原 基敬 | 山﨑 皓平 |
| | | | | | | 山﨑 洋介 | | 黒田 勇人 | |
| | | | | | | | | 増田 亮治 | |
| | | | | 総務委員会 | 杉岡　裕 | 川口 修司 | 実政 佳佑 | 池田 稔 | 重藤 佑紀耶 |
| | | | | | | 高木 大地 | | 小野 陽平 | 野本 智也 |
| | | | | | | | | 齋藤 將斗 | |

セクレタリー：原 拓矢／黒田 勇人

休会：勝浦 夏彦／萩田 正樹

公益社団法人岡山青年会議所 2025年度 年間公式ｽｹｼﾞｭｰﾙ(案)

| | | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 岡山青年会議所 | 例会 | 16日(木)<br>例会1<br>ﾊﾞｯｼﾞ授与式 | 6日(木)<br>例会2<br>3分間ｽﾋﾟｰﾁ | 5日(水)<br>第一例会3<br>総会1<br>ｺﾐｭﾆﾃｨ<br><br>19日(水)<br>第二例会4<br>ﾌﾞﾛｯｸ会長公式訪問例会 | 2日(水)<br>例会5 | 7日(水)<br>例会6 | 4日(水)<br>例会7 | 2日(水)<br>第一例会8<br>総会2<br>ﾊﾞｯｼﾞ授与式<br><br>16日(水)<br>第二例会9<br>総会3<br>ﾁｬﾚﾝｼﾞｽﾋﾟｰﾁ | 6日(水)<br>例会10<br>総会4<br>3分間ｽﾋﾟｰﾁ<br>理事選挙 | 3日(水)<br>例会11<br>ｺﾐｭﾆﾃｨ<br><br>17日(水)<br>例会12<br>75周年記念式典(OB合同例会) | 7日(火)<br>例会13 | 5日(水)<br>例会14<br>出向者報告 | 3日(水)<br>第一例会15<br>さよなら例会<br><br>24日(水)<br>第二例会16<br>総会5<br>ｸﾘｽﾏｽ家族会<br>(親睦事業) |
| | 執行部会議 | 6日(月)<br>第1回<br>執行部･理事合同会議 | 3日(月)<br>第2回 | 3日(月)<br>第3回 | 7日(月)<br>第4回<br><br>28日(月)<br>第5回 | | 2日(月)<br>第6回 | 2日(水)<br>第7回<br>執行部･理事合同会議<br>16日(水)<br>第8回<br>執行部･理事合同会議 | 4日(月)<br>第9回 | 1日(月)<br>第10回 | 6日(月)<br>第11回 | 5日(水)<br>第12回 | 8日(月)<br>第13回<br>執行部･理事合同会議 |
| | 理事会 | 1日(月)<br>新年理事会<br><br>6日(月)<br>第1回<br>執行部･理事合同会議 | 10日(月)<br>第2回 | 10日(月)<br>第3回 | 14日(月)<br>第4回 | 12日(月)<br>第5回 | 9日(月)<br>第6回 | 2日(水)<br>第7回<br>執行部･理事合同会議<br>16日(水)<br>第8回<br>執行部･理事合同会議 | 18日(月)<br>第9回 | 8日(月)<br>第10回 | 14日(火)<br>第11回 | 17日(月)<br>第12回 | 8日(月)<br>第13回<br>執行部･理事合同会議 |
| | 総務委員会 | 2024年12月23日(月)<br>第1回<br>21日(火)<br>第2回 | 25日(火)<br>第3回 | 24日(月)<br>第4回 | 21日(月)<br>第5回 | 26日(月)<br>第6回 | 23日(月)<br>第7回 | 7日(月)<br>第8回<br>28日(月)<br>第9回 | 25日(月)<br>第10回 | 22日(火)<br>第11回 | 27日(月)<br>第12回 | 25日(火)<br>第13回 | |
| | 正副理事長会議 | 日( )<br>第1回 | 日( )<br>第2回 | 日( )<br>第3回 | 日( )<br>第4回 | 日( )<br>第5回 | 日( )<br>第6回 | 日( )<br>第7回 | 日()<br>第8回 | 日( )<br>第9回 | 日( )<br>第10回 | 日( )<br>第11回 | 日( )<br>第12回 |
| | 行事 | 6日(月)<br>新年挨拶回り<br><br>16日(木)<br>岡山JC新年賀詞交歓会<br><br>23日(水)～26日(日)<br>京都会議<br>(京都) | 7日(金)<br>歴代理事長会議<br>(新手茶寮) | | | | 12日(木)～15日(日)<br>ｱｼﾞｱ・太平洋地域会議<br>(ﾓﾝｺﾞﾙ) | 19日(土)～20日(日)<br>ﾁｬｰｺﾝﾌｧﾚﾝｽ(横浜) | 未定<br>第30回うらじゃ | | 9日 (木) ～12日 (日)<br>全国大会(佐賀) | 11月4日 (火) ～11月8日 (土)<br>JCI世界会議(チュニス) | 24日(水)<br>ｸﾘｽﾏｽ家族会<br>(親睦事業) |
| 岡山ﾌｫｰﾗﾑ協議会 | 役員会議 | | | | | | | | | | | | |
| | 会員会議所会議 | | | | | | | | | | | | |
| | 公式訪問 | | | | | | | | | | | | |
| | 事業 | | | | | | | | | | | | |
| | 周年行事 | | | | | | | | | | | | |
| | その他 | | | | | | | | | | | | |
| 中国地区協議会 | 正副会議 | 6日(月)<br>WEB 19時～ | 4日(火)<br>担副 17時～ | 4日(火)<br>担副 17時～ | 4日(金)<br>担副 17時～ | 8日(木)<br>WEB 19時～ | 3日(火)<br>WEB 19時～ | 4日(金)<br>WEB 19時～ | | 5日(金)<br>WEB 19時～ | 6日(月)<br>WEB 19時～ | 11日(火)<br>WEB 19時～ | 日( )<br>WEB 19時～ |
| | 財政審査会議 | 11日 (土)<br>防府 17時～ | 18日(火) | 19日(水) | 21日(月) | 19日(月) | 19日(木) | 16日(水) | 自主監査 | 18日(木) | 20日(月) | 21日(金) | 日( ) |
| | 役員会議 | 15日 (水)<br>WEB 19時～ | 21日(金)<br>津山 17時～ | 28日(金)<br>防府 17時～ | 25日(金)<br>呉 17時～ | 26日(月)<br>安来 17時～ | 日( )<br>真庭 | 25日(金)<br>WEB 19時～ | | 26日(金)<br>境港 18時～ | 24日(金)<br>(開催地未定)17時～ | 28日(金)<br>WEB 19時～ | 日( )<br>(開催地未定) |
| | 会員会議所会議 | 24日(金)<br>(京都) | 日( ) | 日( ) | 日( ) | 日( ) | 日( )<br>真庭 16時～18時 | 日( ) | | | 日( ) | 日( ) | 日( )<br>(開催地未定) |
| | 事業 | | | | | | 地区養賀事業<br><br>地区ｺﾝﾌｧﾚﾝｽ | | U11 少年少女 | 地区野球大会<br>( ) | | | |
| | 周年行事 | | | | | 10日 岩国JC<br>31日 山口JC | 29日(日)<br>島根(益田)<br><br>28日(土)<br>宇部JC<br><br>7日(土)<br>境港 | 地区ナイト<br>(横浜) | | | | | |
| | ﾌﾞﾛｯｸ事業 | | 山口会議<br>2月22日(土) | | (岡山)野球大会 | (岡山)じゃがいも<br>(山口)24・25日 球技大会<br><br>(広島)5月31日・6月1日野球大会 | (山口)JCカップ<br>6月22日(日)<br>(広島)ブロックアカデミー<br>6月22日(日)<br><br>(広島)5月31日・6月1日野球大会 | 山口アカデミー | | | | | |
| | その他 | | | 島取BC会頭公式訪問 | | | ブロック大会<br>22日(日)<br>島根(平田) | ブロック大会<br>(岡山 玉野) | | ブロック大会<br>21日(日)<br>広島 尾道<br>山口 周南 | | | |
| 日本青年会議所 | 正副会頭会議<br>(月初) | 7日(土)(東京)<br>28日(火)(佐賀) | 20日 (木) (姫路) | | 3日 (木) (半田)<br>24日 (木) (浜松) | 29日 (木) (京都) | 30日 (木) (東京) | | | 4日 (水) (名古屋)<br>25日 (木) (仙台) | 30日 (木) (神戸) | 27日 (木) (熊本) | |
| | 正副会頭会議<br>(月中/WEB) | 16日(木)(東京) | 6日 (木) (東京)<br>27日 (木) (東京) | | 10日 (木) (東京) | 8日 (木) (東京) | 5日 (木) (東京) | 10日(木)(埼玉) | | 11日 (木) (東京) | 2日 (木) (東京) | 13日 (木) (東京) | 4日(木)(東京) |
| | 常任理事会 | 17日(金)(東京) | 14日 (金) (東京) | 6日 (木) (東京) | 18日 (金) (東京) | 16日 (金) (東京) | 20日 (金) (東京) | 17日 (木) (東京) | | 19日 (金) (東京) | 3日 (金) (東京) | 21日 (金) (東京) | 12日 (金) (東京) |
| | 理事会 | 24日(金)(京都) | 15日 (土) (東京) | 7日 (金) (東京) | 19日 (土) (東京) | 17日 (土) (東京) | 21日 (土) (東京) | 18日 (金) (横浜) | | 20日 (土) (東京) | 10日 (金) (佐賀) | 22日 (土) (東京) | 13日 (土) (東京) |
| | ﾌﾞﾛｯｸ会長会議 | | | | | | | | | | | | |
| | 総会 | 25日(土)(京都) | | 22日 (土) (東京) | | | | | | | 10日 (金) (佐賀) | | |
| | JCI諸会議 | JCI常任理事会/理事会<br>(JCI JEM/JBM) | | ASPACｾﾐﾅｰｺﾞﾙﾌ<br>(ﾀﾞｯｶｰﾝ)<br>23日(日)～26日(水) | | ｱﾌﾘｶ・中東地域会議<br>21日 (水) ～24日 (日)<br><br>ｱﾒﾘｶ地域会議<br>7日 (水) ～10日 (土) | ｱｼﾞｱ・太平洋地域会議<br>12日 (木) ～15日 (日)<br><br>ﾖｰﾛｯﾊﾟ 地域会議<br>4日 (水) ～7日 (土) | JCI中間常任理事会<br>(JCI MYE) | | | | JCI世界会議(ﾁｭﾆｽ)<br>11月4日 (火) ～11月8日 (土) | |
| | non主要事業 | 京都会議<br>(京都)<br>23日 (木) ～26日 (日) | | | | | | JCIｱｶﾃﾞﾐｰ (埼玉中央)<br>6日(日)～11日(金)<br>ﾁｬｰｺﾝﾌｧﾚﾝｽ(横浜)<br>19日 (土) ～20日 (日) | | | 全国大会 (佐賀)<br>9日 (木) ～12日 (日) | | |
| | 財政審査会議 | 19日 (日) | 8日 (土) | 1日 (土) | 12日 (土) | 10日 (土) | 7日 (土) | 12日 (土) | | 13日 (土) | 5日 (日) | 15日 (土) | 6日 (土) |
| | 公益審査会議 | 19日 (日) | 8日 (土) | 1日 (土) | 12日 (土) | 10日 (土) | 7日 (土) | 12日 (土) | | 13日 (土) | 5日 (日) | 15日 (土) | 6日 (土) |
| | ｺﾝﾌﾟﾗｲｱﾝｽ審査会議 | 19日 (日) | 8日 (土) | 1日 (土) | 12日 (土) | 10日 (土) | 7日 (土) | 12日 (土) | | 13日 (土) | 5日 (日) | 15日 (土) | 6日 (土) |

公益社団法人　岡山青年会議所
＜参考資料＞　収支予算書(案)
2025年1月1日から2025年12月31日まで

(単位:円)

| 科目 | 予算額 | 前年度予算額 | 増減 | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| Ⅰ　事業活動収支の部 | | | | |
| 1. 事業活動収入 | | | | |
| ①特定資産運用収入 | 3,000 | 3,000 | 0 | |
| 特定資産利息収入 | 3,000 | 3,000 | 0 | |
| ②受取入会金収入 | 2,000,000 | 3,200,000 | -1,200,000 | |
| 受取入会金収入 | 2,000,000 | 3,200,000 | -1,200,000 | |
| ③会費収入 | 22,490,000 | 25,105,000 | -2,615,000 | |
| 正会員会費収入 | 19,440,000 | 21,780,000 | -2,340,000 | |
| 特別会員会費収入 | 2,800,000 | 2,800,000 | 0 | |
| 賛助会員会費収入 | 0 | 0 | 0 | |
| 特別会員積立金収入 | 250,000 | 525,000 | -275,000 | |
| ④事業収入 | 0 | 0 | 0 | |
| 登録料収入 | 0 | 0 | 0 | |
| 懇親会収入 | 0 | 0 | 0 | |
| 広告料収入 | 0 | 0 | 0 | |
| 販売収入 | 0 | 0 | 0 | |
| 雑収入 | | | 0 | |
| ⑤受取補助金等収入 | 0 | 0 | 0 | |
| 国庫補助金収入 | 0 | 0 | 0 | |
| ⑥受取負担金収入 | 0 | 0 | 0 | |
| 受取負担金収入 | 0 | 0 | 0 | |
| ⑦受取寄付金収入 | 200,000 | 320,000 | -120,000 | |
| 受取寄付金収入 | 200,000 | 320,000 | -120,000 | |
| 受取募金収入 | 0 | 0 | 0 | |
| ⑨雑収入 | 300 | 300 | 0 | |
| 受取利息収入 | 300 | 300 | 0 | |
| その他雑収入 | 0 | 0 | 0 | |
| ⑩他会計からの繰入金収入 | 0 | 0 | 0 | |
| 他会計からの繰入金収入 | 0 | 0 | 0 | |
| 事業活動収入計 | 24,693,300 | 28,628,300 | -3,935,000 | |
| 2. 事業活動支出 | | | 0 | |
| ①事業費支出 | 5,700,000 | 8,800,000 | -3,100,000 | |
| 事業費支出 | 5,700,000 | 8,800,000 | -3,100,000 | |
| 補助金支出 | 0 | 0 | 0 | |
| 事業予備費支出 | 0 | 0 | 0 | |
| ②管理費支出 | 16,853,961 | 17,040,325 | -186,364 | |
| 総務費支出 | 300,000 | 300,000 | 0 | |
| 事務所費支出 | 3,000,000 | 3,000,000 | 0 | |
| 会議費支出 | 0 | 0 | 0 | |
| 人材派遣支出 | 1,920,000 | 1,200,000 | 720,000 | |
| 退職給付手当支出 | 0 | 0 | 0 | |
| 福利厚生費支出 | 0 | 0 | 0 | |
| 事務委託費支出 | 880,000 | 880,000 | 0 | |
| 旅費交通費支出 | 0 | 0 | 0 | |
| 通信費支出 | 700,000 | 600,000 | 100,000 | |
| 印刷費支出 | 600,000 | 700,000 | -100,000 | |
| 消耗品支出 | 350,000 | 350,000 | 0 | |
| 会員費支出 | 2,000,000 | 2,000,000 | 0 | |
| 例会費支出 | 3,800,000 | 4,300,000 | -500,000 | |
| 広報費支出 | 2,335,000 | 2,250,000 | 85,000 | |
| 特別会員費支出 | 150,000 | 150,000 | 0 | |
| 修繕支出 | 0 | 0 | 0 | |
| 租税公課 | 0 | 461,364 | -461,364 | |
| 渉外費 | 309,961 | 309,961 | 0 | |
| JCI渉外費 | 309,000 | 339,000 | -30,000 | |
| 備品購入支出 | 100,000 | 100,000 | 0 | |
| 雑支出 | 100,000 | 100,000 | 0 | |
| 管理・運営予備費支出 | 0 | 0 | 0 | |
| ③負担金支出 | 2,140,788 | 2,339,404 | -198,616 | |
| 加盟団体会費支出 | 2,140,788 | 2,339,404 | -198,616 | |
| 地区会費支出 | 0 | 0 | 0 | |
| ④他会計への繰入金支出 | 0 | 0 | 0 | |
| 他会計への繰入金支出 | 0 | 0 | 0 | |
| 事業活動支出計 | 24,694,749 | 28,179,729 | -3,484,980 | |
| 事業活動収支差額 | -1,449 | 448,571 | -450,020 | |

| 科目 | 予算額 | 前年度予算額 | 増減 | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| Ⅱ　投資活動収支の部 | | | | |
| 1. 投資活動収入 | | | | |
| ①特定資産取崩収入 | 0 | 0 | 0 | |
| 退職給付引当資産取崩収入 | 0 | 0 | 0 | |
| ②固定資産売却収入 | 0 | 0 | 0 | |
| 什器備品売却収入 | 0 | 0 | 0 | |
| ③固定資産取崩収入 | 0 | 0 | 0 | |
| 減価償却引当資産取崩収入(その他資産) | 0 | 0 | 0 | |
| ○○基金引当資産取崩収入 | 0 | 0 | 0 | |
| ④敷金・保証金戻り収入 | 0 | 0 | 0 | |
| 敷金戻り収入 | 0 | 0 | 0 | |
| 保証金戻り収入 | 0 | 0 | 0 | |
| 投資活動収入計 | 0 | 0 | 0 | |
| 2. 投資活動支出計 | 0 | | 0 | |
| ①特定資産取得支出 | 0 | 0 | 0 | |
| 退職給付引当資産取得支出 | 0 | 0 | 0 | |
| 事業引当資産取得支出 | 0 | 0 | 0 | |
| 減価償却引当資産取得支出(特定資産) | 0 | 0 | 0 | |
| 基金引当財産支出 | 0 | 0 | 0 | |
| 積立引当財産支出 | 0 | 0 | 0 | |
| ②固定資産取得支出 | 0 | 0 | 0 | |
| 建物付属設備取得支出 | 0 | 0 | 0 | |
| ③敷金・保証金支出 | 0 | 0 | 0 | |
| 敷金支出 | 0 | 0 | 0 | |
| 保証金支出 | 0 | 0 | 0 | |
| 投資活動支出計 | 0 | 0 | 0 | |
| 投資活動収支差額 | 0 | 0 | 0 | |
| Ⅲ　財務活動収支の部 | | | 0 | |
| 1. 財務活動収入 | | | 0 | |
| ①借入金収入 | 0 | 0 | 0 | |
| 財務活動収入計 | 0 | 0 | 0 | |
| 2. 財務活動支出 | | | 0 | |
| ①借入金返済支出 | 0 | 0 | 0 | |
| 財務活動支出計 | 0 | 0 | 0 | |
| 財務活動収支差額 | 0 | 0 | 0 | |
| Ⅳ　予備費支出 | 0 | 0 | 0 | |
| 当期収支差額 | -1,449 | 448,571 | -450,020 | |
| 前期繰越収支差額 | | 0 | 0 | |
| 次期繰越収支差額 | -1,449 | 448,571 | -450,020 | |

# 公益社団法人岡山青年会議所 2025年度理事長公職(案)

岡山県青少年育成県民会議 理事
岡山県FOS少年団連盟 理事
社会福祉法人岡山県共同募金会 評議員
岡山中央暴力追放推進協議会 会員
岡山県西暴力追放推進協議会 会員
「小さな親切」運動岡山本部 役員
第74回“社会を明るくする運動”岡山県推進委員会 委員
国立吉備少年自然の家 施設業務運営委員会 委員
岡山市交通安全対策協議会 委員
岡山国際音楽祭実行委員会 実行委員
公益財団法人岡山市公園協会 評議員
春の花いっぱい運動 主催団体
おかやま桃太郎まつり運営委員会 理事
MOMOTAROH FANTASY 実行委員会 実行委員長
2025マーチング・イン・オカヤマ実行委員会 副実行委員長
「心豊かな岡山っ子」応援団 団員
岡山市オレンジリボンキャンペーン実行委員会 実行委員
岡山市ジュニアオーケストラ後援会 理事
岡山っ子育成条例推進会議 委員
旭川かわまちづくり計画事業推進会議 委員岡山県日韓親善協会 理事
岡山県警察友の会 会員
「6月1日岡山市民の日」推進協議会 理事

公益社団法人岡山青年会議所

2025 年度 直前理事長セクレタリー(案)

チーフセクレタリー

畠中 康行

セクレタリー

田村 陵

平林 久尚

公益社団法人岡山青年会議所

2025 年度 理事長セクレタリー(案)

チーフセクレタリー

原 拓矢

セクレタリー

黒田 勇人

角南 慶英

公益社団法人岡山青年会議所

2025 年度 役員選挙管理委員会メンバー(案)

委員長

三垣 章一

副委員長

大熊 一旗

幹事

小野 陽平

委員

砂古 和宏

脇本 光

本田 聖

増田 亮治

公益社団法人日本青年会議所

2025 年度 出向者(案)

国際グループ

JCI 関係委員会

副委員長

大塚 真弘

委員

大川 直人

高木 大地

二垣 幸広

野本 智也

花房 利宇

林 良洵

組織グループ

理念共感拡大委員会

委員

小野 優

国家グループ

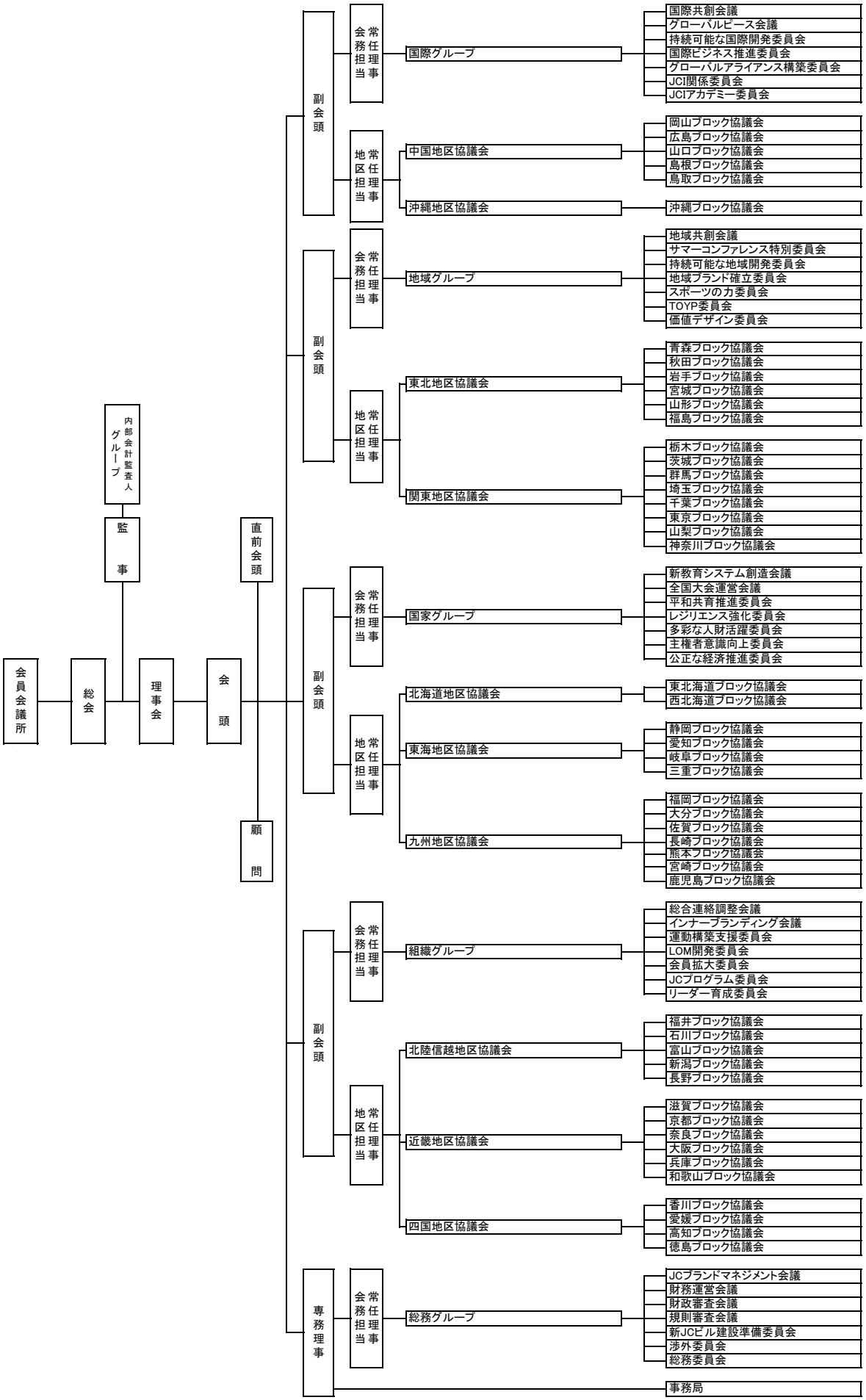
レジリエンス強化委員会

委員

藤原 由季子

槙山 大介

# 公益社団法人 日本青年会議所
## 2025年度 基本資料(案)
## 組 織 図




※記載のブロック協議会は、第177回総会にて上程される、公益社団法人日本青年会議所の定款変更を前提とした組織図となります。

公益社団法人日本青年会議所

中国地区協議会

2025 年度 出向者(案)

顧問

大森 将平

顧問 幹事

畠中 康行

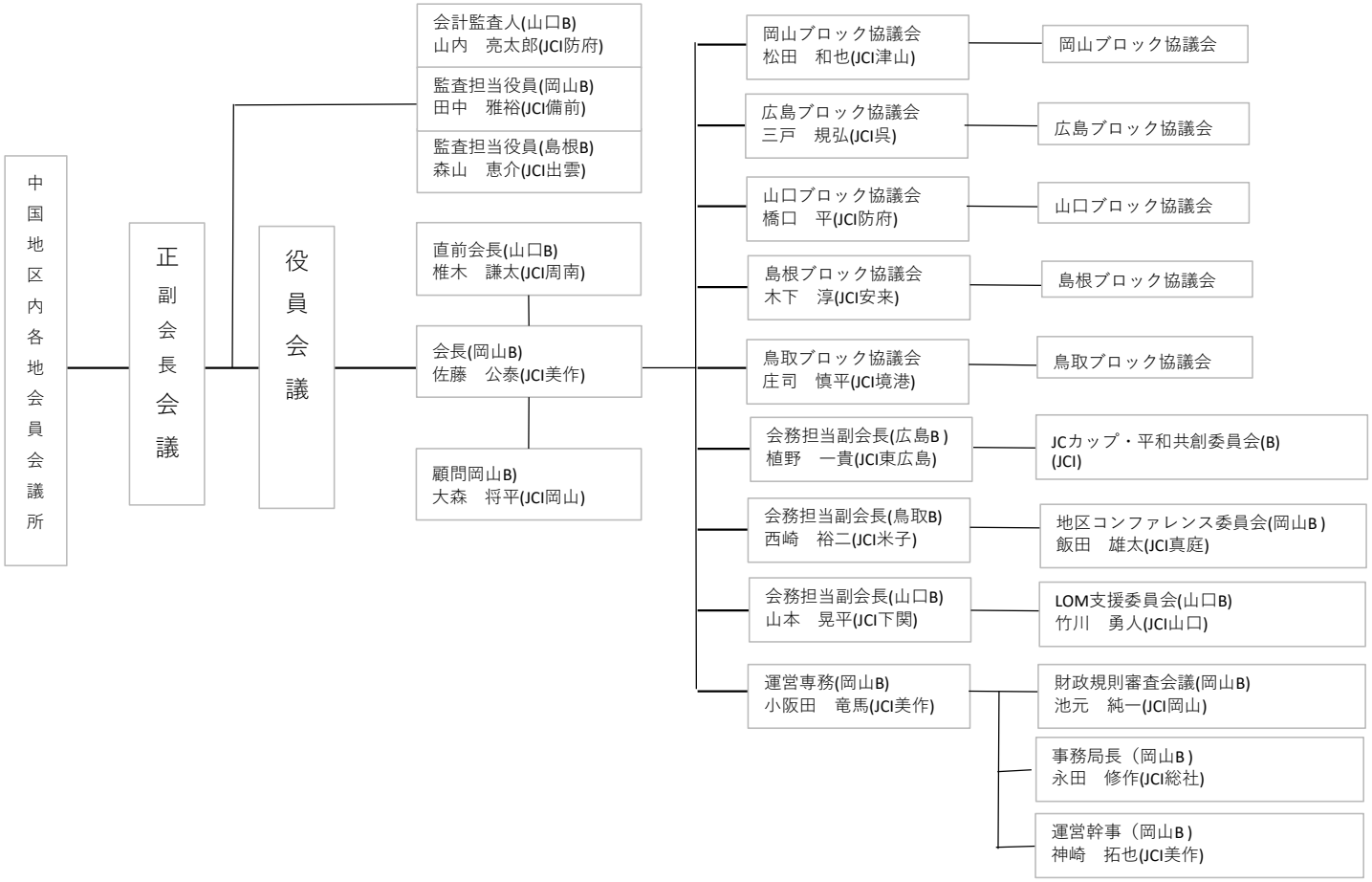
田村 陵

平林 久尚

財政規則審査会議 議長

池元 純一

# 2025年度　公益社団法人日本青年会議所　中国地区協議会　役員組織図



公益社団法人日本青年会議所

中国地区 岡山ブロック協議会

2025 年度 出向者(案)

副会長

大北 大士郎

副会長幹事

洲脇 健太

中塚 修平

JC ブランディング会議

副議長

藤田 卓也

委員

田渕 伊織

魅力ある人財育成委員会

副委員長

山田 健二

委員

星島 大伍郎

希望あふれる岡山創造委員会

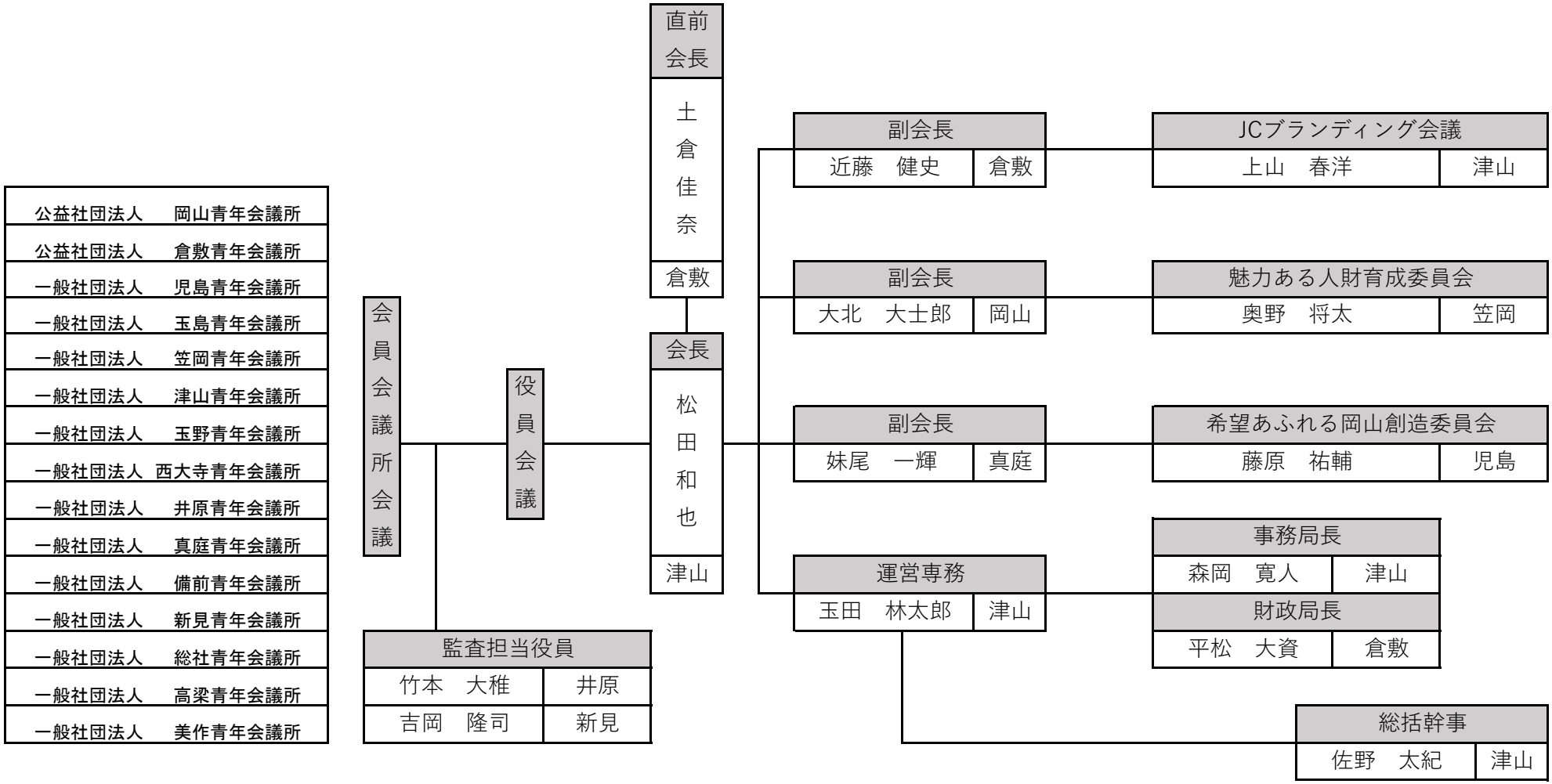
副委員長

森田 貴統

委員

福永 涼人

2025年度 岡山ブロック協議会 組織図



# 公益社団法人岡山青年会議所　歴代理事長

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 初　代 | 1951 年 | 江見祐吉 | | 第38代 | 1988 年 | 池田金治郎 | |
| 第２代 | 1952 年 | 江見祐吉 | | 第39代 | 1989 年 | 若林昭吾 | |
| 第３代 | 1953 年 | 松田基 | | 第40代 | 1990 年 | 中島康博 | |
| 第４代 | 1954 年 | 松田基 | | 第41代 | 1991 年 | 永野資幸 | |
| 第５代 | 1955 年 | 服部好郎 | | 第42代 | 1992 年 | 松田久 | |
| 第６代 | 1956 年 | 稲田洋一 | | 第43代 | 1993 年 | 服部恭一郎 | |
| 第７代 | 1957 年 | 藤木昌二 | | 第44代 | 1994 年 | 柳井淳 | |
| 第８代 | 1958 年 | 池田徳五郎 | | 第45代 | 1995 年 | 森下矢須之 | |
| 第９代 | 1959 年 | 庭瀬欣一郎 | | 第46代 | 1996 年 | 西康宏 | |
| 第10代 | 1960 年 | 松田堯 | | 第47代 | 1997 年 | 梶谷俊介 | |
| 第11代 | 1961 年 | 関種雄 | | 第48代 | 1998 年 | 稲荷泰瑛 | |
| 第12代 | 1962 年 | 西下賢治 | | 第49代 | 1999 年 | 永山久人 | |
| 第13代 | 1963 年 | 逢沢英雄 | | 第50代 | 2000 年 | 黒瀬仁志 | |
| 第14代 | 1964 年 | 石原真臣 | | 第51代 | 2001 年 | 西川智晴 | |
| 第15代 | 1965 年 | 小林達也 | | 第52代 | 2002 年 | 岡崎正裕 | |
| 第16代 | 1966 年 | 中島輝夫 | | 第53代 | 2003 年 | 藤原史暁 | |
| 第17代 | 1967 年 | 黒瀬友近 | | 第54代 | 2004 年 | 梶原康彦 | |
| 第18代 | 1968 年 | 小林稔 | | 第55代 | 2005 年 | 八木一成 | |
| 第19代 | 1969 年 | 奥山勝太郎 | | 第56代 | 2006 年 | 占部守弘 | |
| 第20代 | 1970 年 | 中島博 | | 第57代 | 2007 年 | 吉村武大 | |
| 第21代 | 1971 年 | 木原佑一 | | 第58代 | 2008 年 | 石田敦志 | |
| 第22代 | 1972 年 | 黒瀬敦美 | | 第59代 | 2009 年 | 永山雅己 | |
| 第23代 | 1973 年 | 中野英一 | | 第60代 | 2010 年 | 岸本浩二 | |
| 第24代 | 1974 年 | 徳元秀臣 | | 第61代 | 2011 年 | 中山賢太郎 | |
| 第25代 | 1975 年 | 福武和彦 | | 第62代 | 2012 年 | 有松林太朗 | |
| 第26代 | 1976 年 | 片山義久 | | 第63代 | 2013 年 | 尾﨑茂 | |
| 第27代 | 1977 年 | 伊原木一衛 | | 第64代 | 2014 年 | 鈴森賢史 | |
| 第28代 | 1978 年 | 石田規夫 | | 第65代 | 2015 年 | 久松朋史 | |
| 第29代 | 1979 年 | 藤原敬介 | | 第66代 | 2016 年 | 佐野範一 | |
| 第30代 | 1980 年 | 前坂匡紀 | | 第67代 | 2017 年 | 高見宣哉 | |
| 第31代 | 1981 年 | 服部弘平 | | 第68代 | 2018 年 | 青木浩平 | |
| 第32代 | 1982 年 | 野津喬 | | 第69代 | 2019 年 | 古市聖一郎 | |
| 第33代 | 1983 年 | 岡﨑彬 | | 第70代 | 2020 年 | 髙山晃一 | |
| 第34代 | 1984 年 | 滝澤輝治 | | 第71代 | 2021 年 | 小林佑輔 | |
| 第35代 | 1985 年 | 小嶋光信 | | 第72代 | 2022 年 | 石井聖至 | |
| 第36代 | 1986 年 | 末長範彦 | | 第73代 | 2023 年 | 安部真良 | |
| 第37代 | 1987 年 | 伊原木省五 | | 第74代 | 2024 年 | 大森将平 | |

（敬称略）